

インキ総量が 360%を超える場合

⚠注意内容：ページのインキ総量が高過ぎます：399.99 % > 360.00 %

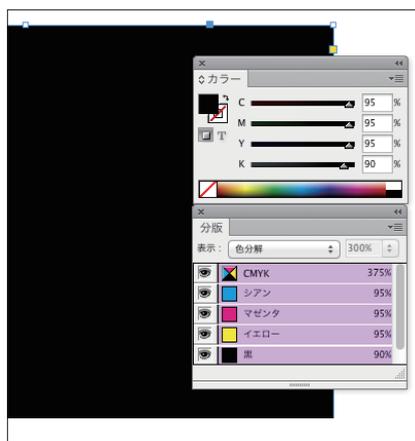
❖ 概要

線や色の塗り（または画像）で、CMYK 成分の合計数値が 360%以上を超える箇所がある場合、印刷工程において裏移りやブロッキングといったトラブルの原因となります。これは乾燥の遅れにより引き起こされるものです。

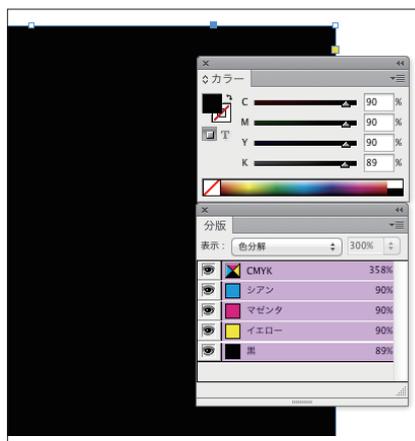
❖ 対処方法

インキ総量が 360%を超える部分をご確認いただき、必要に応じて色成分の調整をしてください。

InDesign、Illustratorの場合

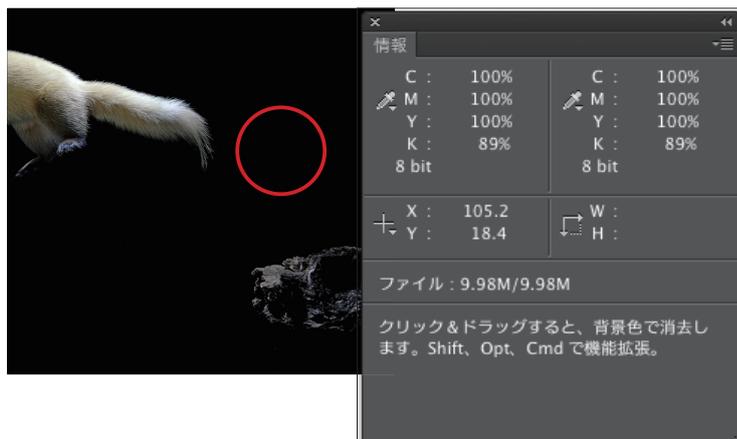


①インキ量の測定は、分版プレビューからCMYK成分の合計値をご確認ください。

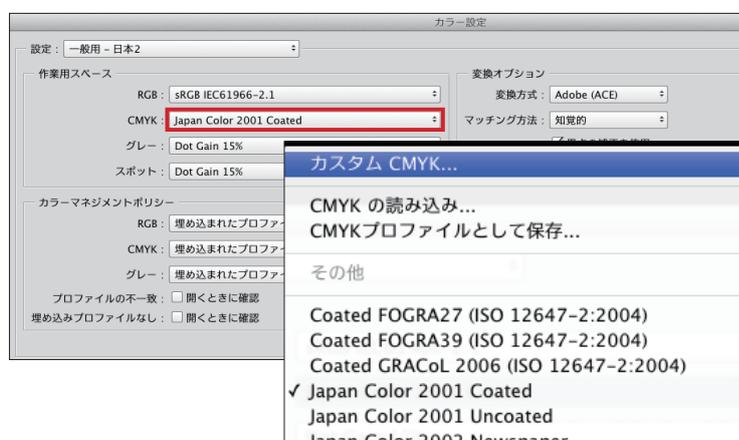


②総インキ量が360以下に抑えるよう色成分を調整してください。

Photoshopの場合

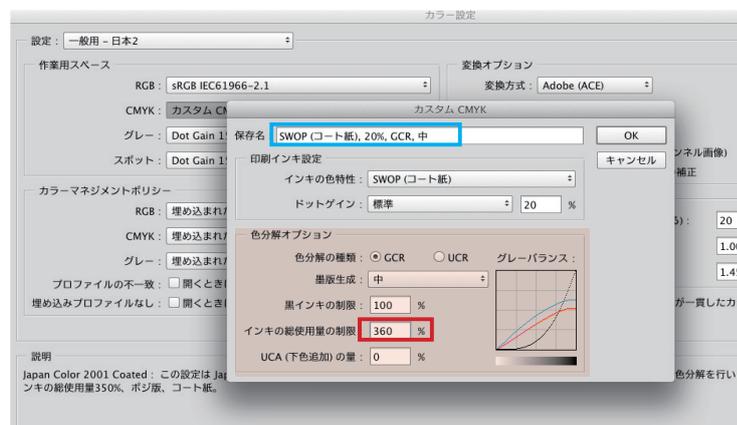


①情報パレットから色成分の数値を確認します。



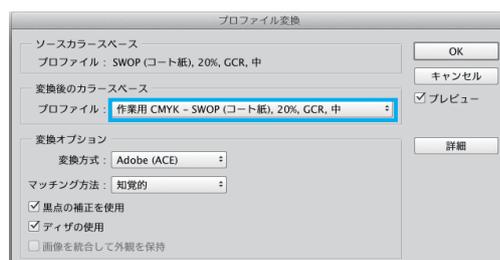
②編集メニューの「カラー設定」を選択します。

③CMYKの項目の「カスタムCMYK」を選択して、カラー変換用のプロファイル変換の設定を作成します。



④色分解オプション中のインキ総使用量の制限を360%に設定します。

⑤設定を終えたら、カラー設定に任意の名称をつけて保存します。



⑥「編集」メニューの「プロファイル変換」を選び、作成した新規のプロファイル設定を実行します。

⑦画像ファイル内の総インキ量が抑えられた色変換が行われます。

※画像ファイルの点数が多い場合はバッチ処理をかけると効率的に変換が行われます。